

おらほのまちづくり支援事業補助金

事業提案募集!

『おらほのまちづくり支援事業補助金』は、公益活動や集いとまち（地域）の賑わいを創出するための事業など、自主的に実施する団体に対して、町が応援する『提案公募型』の補助制度です。今年度は、ノルウェー王国からの助成による「子どもと若者を対象とした事業」に対し新たに支援を行うこととなりました。柔軟な発想と創意工夫を活かした、まちづくり・地域づくり・緊急仮設住宅でのコミュニティづくりについての事業提案を多数お寄せください。

公益活動支援事業

3名以上で構成される団体が行う事業で、活動が本人や団体のためだけでなく、社会全体に役立つことを目指す事業が対象です。補助率は、補助対象経費に対し100パーセントといたします。（上限…30万円、下限…なし）

たとえば…

- 地域の連携や一体感を高めるための事業など
- 民俗芸能等を復活させるための取り組みなど
- 地域内の高齢者や児童等の見守りや介護予防のための事業など
- 各地区緊急仮設住宅でのコミュニティ形成を図るための事業など
- 集会所（コミュニティセンター）を利用した地域の取り組みなど

集いと賑わい創出事業

3名以上で構成される団体が行う事業で、交流人口の拡大を図るためのイベント開催や、多くの町民が顔を合わせ、連携を図るための行事の開催など、町に集いと賑わいをもたらす事業が対象です。補助率は、補助対象経費に対し75パーセントといたします。（上限…50万円、下限…10万円）

たとえば…

- 地域の魅力を高めるためのイベント開催
- 朝市の開催など、賑わいの創出とともに地場産業の振興が図られる事業
- 観光面でまちに賑わいをもたらすイベント開催等の事業

全町的な大規模事業

3名以上で構成される団体が行う事業で、県内外からの交流人口の拡大を図るためのイベント開催や、南三陸町の魅力を高めるための、県内外へ向けたPR活動、また、多くの町民が顔を合わせ、交流を行うための全町的な大規模事業の開催などが対象です。補助率は、補助対

象経費に対し100パーセントといたします。（上限…100万円、下限…なし）

たとえば…

- 南三陸町の魅力を、県内外に高めるためのPRイベント開催
- 賑わいの創出とともに地場産業等の振興が図られる大規模な事業
- 観光面でまちに賑わいをもたらすイベント開催等の大規模な事業

子どもと若者を対象とした事業（ノルウェー王国南三陸町復興支援助成）

3名以上で構成される団体が行う事業で、活動が団体や申請者のためだけでなく、子どもと若者を対象とした事業となります。なお、ノルウェー王国からの助成となりますので、備品購入などの場合「ノルウェー王国南三陸町復興支援助成」と名称を入れていただきます。詳細については、担当課に相談ください。補助率は、補助対象経費に対し100パーセントといたします。（上限…100万円、下限…なし）

たとえば…

- PTA・父母会などが主催する、その地域と一緒に進める親子イベント事業
- PTA・父母会などが主体となって行う、子どもたちの遊び場づくり、及び遊具等を設置する事業
- スポーツ少年団等が主体となって行う、大会遠征及び開催事業
- 地域の青年団体等が主体となって行う、定住・移住を進めるための事業

◆募集期間 5月1日(木)から6月2日(月)

◆申込方法 企画課に用意してある関係様式にて、企画課企画推進係まで申し込みください。
※関係様式は、町ホームページからもダウンロードできます。

申込・問い合わせ 企画課企画推進係 ☎46-1371

平成25年度に採択された事業（抜粋）

事業名	事業概要	団体名
若手が主体となって、未来へ継承していく「さんさん商店街盆踊り」	震災の復興にあたり、ソフト面の復興として、多くの町民が一体となって楽しみ、地域の良さを共有しあう場として盆踊りの開催。	南三陸ふっこう青年会
第2回夏だ！みんなで盆まつり	仮設住宅・地域の「みなし仮設」・グループホーム入居者及び登米市民との交流促進。	南方仮設住宅第2期自治会
長須賀つながりビーチ子ども海広場	長須賀海水浴場を再開させるため清掃活動などを行い、子どもたちの遊び場として海広場を再開。	震災復興支援協会つながり魚竜
荒砥とうろう流し	送り盆に灯籠を作り、荒砥漁港より海へ流し、今日までお亡くなりになられた方々への鎮魂の祈りと、荒砥再生を祈願。	荒砥海友会
海の運動会in田の浦	田の浦漁港を活用した海の運動会を開催し、海上玉入れ・海上ストラックアウト・海上綱渡りなど。子どもも大人も楽しめる運動会を開催。	田の浦ファンクラブ

志津川湾の眺望を楽しめる防潮堤沿いの遊歩道



志津川市街地 グランドデザイン 報告会の開催

町では、南三陸町震災復興計画に定められた「安らぎと賑わいのあるまち」を整備するため、志津川市街地の具体的な土地利用活用について、世界的に著名な建築家の隈研吾氏に依頼し、検討を進めてまいりました。
このほど、そのグランドデザイン（全体にわたる計画・構想）がまとまりましたので、限氏による報告会を開催いたします。今後の志津川市街地の土地利用をご理解いただくよい機会ですので、ぜひご参加ください。

- ◇日時 5月26日(月) 午後6時30分から8時まで
- ◇場所 ベイサイドアリーナ文化交流ホール
- ◇問い合わせ 復興市街地整備課 ☎46-1382



1954年生。東京大学建築学科大学院修了。1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。現在、東京大学教授。1997年「森舞台/登米市伝統継承館」で日本建築学会賞受賞。その後の作品に対し、海外からの受賞も数多い。近作に浅草文化観光センター（2012）、「歌舞伎座」（2013）、マルセイユFRAC（2013）等。著書に、『自然な建築』（岩波新書 2008）、『日本人はどう住まうべきか？』（養老孟司氏との共著 日経BP社 2012）、『建築家、走る』（新潮社 2013）



人々が集い新しい町の象徴となる大屋根を有した大きな広場



「住宅再建相談会」を開催します

町では、復興庁、住宅金融支援機構、（一社）宮城県建築士事務所協会と協力して、震災により被災された方の住宅再建に必要な情報を提供することを目的に、下記により相談会を開催しますのでご利用ください。

◇日時 5月9日(金)、10日(土) 午前10時から午後4時 ◇場所 役場2階大会議室

◇相談内容

- ・自立再建に向けての資金計画相談（融資の制度案内、返済額シミュレーションの作成、資金計画のアドバイス）
- ・住まいに関するプランニング等の専門家（宮城県建築士事務所協会）による相談
- ・住まい再建のための公的助成制度や災害公営住宅に関する相談
- ・消費税率の引上げに伴う「住まいの復興給付金」に関する相談

◇その他 融資・資金計画等の相談をご希望される場合は、住宅金融支援機構へ事前に予約をお願いいたします。

◇問い合わせ 住宅金融支援機構 ☎022-227-5035 復興事業推進課住宅再建支援係 ☎46-1379
住まいの復興給付金事務局 ☎0570-200-246